



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第12号

2021年6月24日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

東浦中学校 野村SPとの出会い

6月16日、東浦中学校で4月からウィークリーSPとして活動してくれている野村SPに会いに行きました。野村SPも遠方から、「東浦町で活動がしたい！」という強い想いで来て来てくれています。笑顔が素敵な、そして細かいところまで気遣いのできる素敵なSPさんです。英語が専門科目で、留学経験もあるそうです。いろいろな経験から、「笑顔の力」を実感しているからでしょう。笑顔が輝いていました。



この日は、1年生の英語の授業に入っていました。野村SPの様子から、緊張が感じられました。でも、笑顔は抜群でした。緊張、しますよね。よく分かります。きっとどのSPさんも、最初はみんな緊張すると思います。勝手に分からず、何をしたらよいのか分からず、児童生徒にどこまで、何を話しかけていいものなのか、迷います。悩みます。今までの通信にも書きましたが、その迷いや悩みこそが大きな学びです。周りを見る力、何が最善かを考える力、そして考えたことを行動に移す力、それが身に付くのが東浦町のSP活動です。ぜひ、悩み、迷い、考え、行動してみてください。きっとその一つ一つが皆さんの糧になると思います。せっかく東浦町まで来て来てくれているのです。ぜひ思いっきり活動してみてください。野村SP、Go for it! You can do it! これからもその笑顔を武器に、東浦中で積極的に活動していつてもらえたらと思います。

なんとこの日、廊下でばったり、片葩小の田村SPと緒川小の水野SPに会いました。2人は東浦中で教育実習の真っ最中だとのこと。突然でしたが、会えてとても嬉しかったです。水野SPはちょうど研究授業をするところだったので、冒頭の部分を見させてもらいました。本当に教育実習生？と思うほど、堂々としていました。落ち着いていました。生徒とのレスポンスもとてもスムーズでした。きっと緒川小でのSP活動が生きているのだと思います。経験がなければ、実際に生徒を目の前にした時に、あそこまでスムーズにやり取りをすることは難しいと思います。野村SPも途中から水野SPの授業を見にきていました。田村SPもちろん授業を見学し、たくさんメモを取っていました。勉強家のSPさんたちです。

今回はたまたま違う学校のSPさん同士会うことができました。今後SP研修会などで会ったら、きっと今日のことで話が弾むことでしょう。現場に出ても、どこでどんな縁が繋がっていくか分かりません。東浦町のSP活動でできた縁が、現場に出たみなさんの安心感に繋がっていったらいいなあと思います。

